

## 令和 2 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県有峰森林文化公園 森林政策課

2 施設所在地  
富山市有峰

3 施設設置年度  
平成 1 4 年度

4 設置目的  
豊かな森林を有する有峰において、森林と人との密接な関わりの中で作られた森林文化を継承するとともに新たな森林文化を創造すること。

5 施設概要  
敷地面積：97,828㎡  
主な施設  
・有峰ハウス（宿泊施設）：木造平屋一部二階 834㎡  
・ビジターセンター（展示室・事務室）：鉄筋コンクリート造平屋 196㎡  
・キャンプ場ロッジ（倉庫）：鉄筋コンクリート造平屋 164㎡

6 指定管理者  
公益社団法人富山県農林水産公社

7 指定期間  
5 年  
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

## 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
1,656	1,909	1,489	1,607	1,464

※有峰ハウス、キャンプ場、テニスコート利用者数の合計

(2) 利用者数（人）

H28	H29	H30	R1	R2
15,271	11,025	12,179	16,027	15,355

※(1)を除く施設利用者数の合計

(3) 開催イベント参加者数（人）

H28	H29	H30	R1	R2
1,342	1,207	1,143	2,008	538

(4) 利用（使用）料金収入（千円）

H28	H29	H30	R1	R2
7,302	8,005	6,715	6,573	6,013

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H28	H29	H30	R1	R2
6,365	6,365	7,097	7,122	7,229

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和元年度と比較し、有峰森林文化村全体の利用者数・収入は共に減少したが、これは新型コロナウイルスの感染拡大が影響したものと考えられる。このうち、有峰ハウスの利用者数・収入の減は約2割にとどまっており、一般的な宿泊施設よりコロナの影響は抑えられている。その要因としては、①感染症対策を徹底し、例年通りの期間営業ができたこと、②登山客や工事関係者等の固定客の存在、③有峰などの森林の利活用ニーズの高まりが挙げられる。

### (2) サービス向上に向けた取組み

「有峰で遊ぼう」など、不特定多数の来訪者が見込まれる行事が中止となるなか、遊歩道の個別案内業務（「森の案内人」）や令和2年度からの新たな取り組みであるミニ観察会など、少人数グループを対象とした行事を積極的に実施することで、密を回避し、かつ濃い内容で有峰をPRすることができた。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・令和2年度から、年間を通した行事リーフレットを作成するとともに、行事毎の募集案内チラシも作成し、地鉄主要10駅に設置して周知を図った。  
・令和2年3月より、LINEアカウントを開設し、有峰新聞や行事案内の発信を行った。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	有峰ハウスフロントにアンケート用紙を置いて宿泊者に記入してもらっている。（ハウス営業期間：6月～11月に実施）
回答者数	148名
結果	総合評価欄 「大変満足」 69.2% 「ほぼ満足」 28.1% 「普通」 2.0% 「やや不満」 0.0% 「不満」 0.7%
結果を踏まえた改善事項	新型コロナウイルス感染症対策として、食堂のレイアウト変更（対面の禁止）や人数制限を実施した。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

・文化村行事ごとに、アンケートを記入してもらい、集計して、年度末の有峰森林文化村会議懇話会に報告し、次年度の計画立案に活かしている。

#### ③ 主な苦情と対応

特になし。

(5) 個人情報保護の取組み

・有峰村民登録をされる方の個人情報の漏洩防止を厳重に行った。

(6) 関係団体との連携

・立山砂防カルデラ博物館や、立山博物館などの近隣施設と連携し、相互の施設のPRを行い、地区全体での利用者が増加するように努めた。

(7) 施設・設備の維持管理

遊歩道などの施設は、行事で使用する前及び2週間に1回程度、巡視点検を実施し、施設の安全利用に努め、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・昨年に続きクマの異常出没が見られたため、クマ対策に総合的に取り組んだ(①来訪者への普及活動(パンフ配布、注意看板設置、出没マップ掲載等)、②職員による巡回活動(キャンプ場利用者への個別普及活動、生ごみの回収)、③村内での自主活動(生ゴミ回収の徹底、侵入防止対策の実施、撃退対策の準備、適切な威嚇行為の実施)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	6
有	2
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

林道小見線の二車線化工事が完成したことから、今後は有峰を気軽に訪れる日帰り客が増加するものと考えられるため、来訪者への細やかな対応や「次は文化村活動に参加しよう」と思っただけの仕組みづくりが重要となる。

①日帰り来訪者への対応

- 1 ビジターセンター機能の強化。「森の案内人」による少人数向けの案内業務をPR)
- 2 岐阜県山之村地区との連携強化(広域地図の作成、相互PRコーナーの設置)

②主催文化活動への参加促進

- 1 若者・女性や社会的弱者の方など幅広い層が参加しやすい活動の企画
- 2 行事案内の充実や、活動実績・成果(行事写真や有峰俳壇等)のPR